

## 平成17年度予備的調査の概要 (カラー刷り図表編)

- **世界とアジア**の主要な趨勢と課題(抜粋)  
(スライド3～24)
- **日本**の主要な趨勢と課題(抜粋)  
(スライド25～40)

1

## 将来の社会像の裏付けとなる数値データ収集、 既存の類似検討事例調査

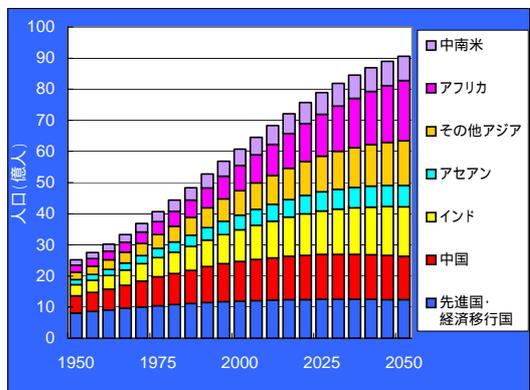
### 国内文献調査・海外文献調査の対象分野

1. 【人口】
2. 【経済・産業・開発】
3. 【エネルギー・資源】
4. 【水】
5. 【食料】
6. 【国土】
7. 【都市・建築・交通】
8. 【技術】
9. 【ライフスタイル】
10. 【環境】
11. 【将来シナリオ】

2

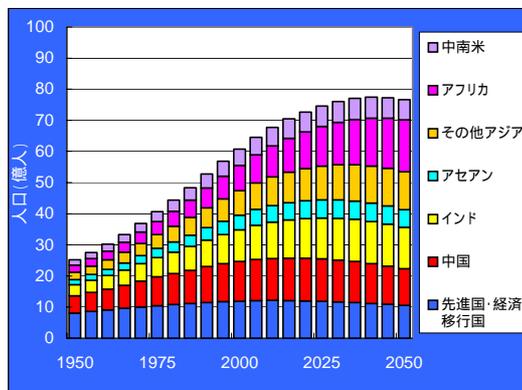
# 世界の人口

国連の中位推計では、世界人口は2050年まで増加し続け、91億人に到達する。中国は2030年に15億人に達し、ピークを迎える。インドは2050年まで増加し続け、14億人に到達する。低位推計では、世界人口は2040年の78億人でピークを迎える。中国は2020年、インドは2040年にそれぞれピークを迎える。



中位ケース(億人)	1975	2000	2025	2050
先進国・経済移行国	10.5	11.9	12.5	12.4
中国	9.3	12.7	14.4	13.9
インド	6.2	10.2	14.0	15.9
アセアン	2.9	4.7	6.2	6.9
その他アジア	4.4	7.8	11.5	14.3
アフリカ	4.2	8.1	13.4	19.4
中南米	3.2	5.2	7.0	7.8
世界	40.7	60.9	79.1	90.8

中位推計



低位ケース(億人)	1975	2000	2025	2050
先進国・経済移行国	10.5	11.9	11.9	10.6
中国	9.3	12.7	13.6	11.7
インド	6.2	10.2	13.1	13.3
アセアン	2.9	4.7	5.8	5.7
その他アジア	4.4	7.8	10.8	12.2
アフリカ	4.2	8.1	12.8	16.7
中南米	3.2	5.2	6.6	6.5
世界	40.7	60.9	74.7	76.8

低位推計

図. 世界人口 (UN2004)

出所: UN World Population Prospects(2004)より作成

## 出生率

現在の出生率は日本、欧州1.4、中国1.8、インド3.4、アフリカ5.3である。国連の中位推計ではアフリカを除く地域の2045～50年における出生率は2を下回ると想定。

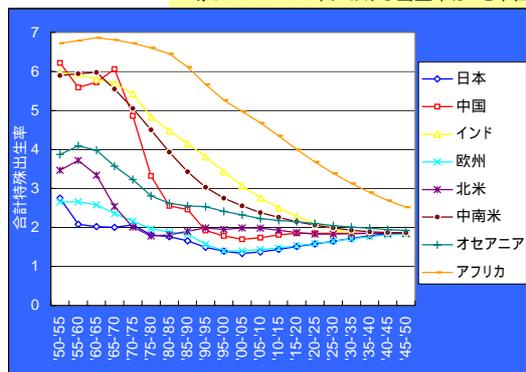
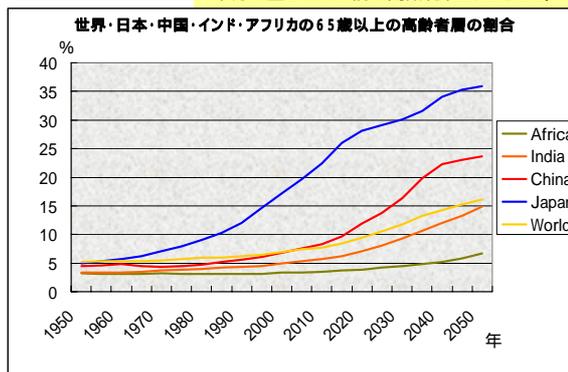


図. 世界の出生率

## 高齢化

世界的に進む高齢化(65歳以上が総人口の7%を越えると高齢化社会)。多くの途上国は十分に豊かになる前に高齢化社会を迎える。



## 世界の都市人口(都市人口比率)

2000年から2030年にかけて世界人口は20億人増加すると予測されているが、その人口は途上国の都市地域に吸収される。アジアとアフリカにおいて都市人口比率の増加が著しい。両地域の2003年の都市人口比率は39%であるが、2030年にはアフリカで54%、アジアで55%に達する。

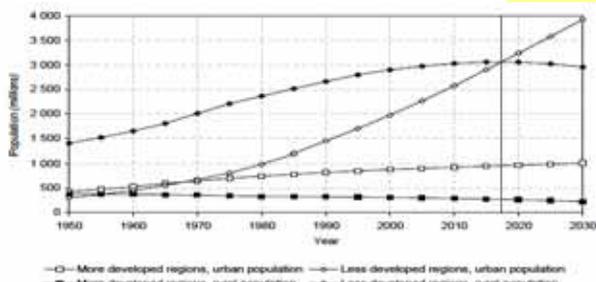


図. 先進国と途上国の都市人口・非都市人口

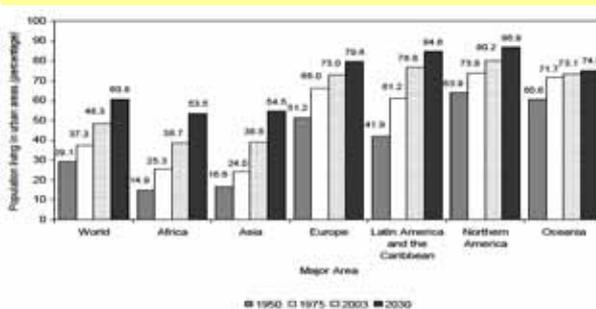


図. 都市人口の比率

出典: UN World Population Prospects(2004)より作成 4